

**国家的に重要な研究開発
「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」(文部科学省)
の事後評価について**

平成 25 年 5 月 13 日
評価専門調査会

1. 事後評価の実施について

総合科学技術会議が事前評価を実施した研究開発については、「総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価について」(平成 17 年 10 月 18 日総合科学技術会議決定。以下、「評価に関する本会議決定」という。)において、当該研究開発が終了した翌年度に事後評価を行うこととされている。

以下の研究開発が平成 24 年度をもって終了したことから、事後評価を実施することとする。評価は、評価専門調査会が調査・検討を行い、その結果を受けて総合科学技術会議で決定することとする。

2. 評価対象

「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」【文部科学省】

＜研究開発概要＞

本研究開発は、スーパーコンピューティング分野において、今後とも我が国が世界をリードし、科学技術や産業の発展を牽引し続けるために、Linpack^{注1)}で 10 ペタ FLOPS^{注2)}を達成する次世代スーパーコンピュータの開発、スーパーコンピュータを最大限活用するためのソフトウェア等の開発・普及、及び、これを中核とする世界最高水準のスーパーコンピューティング研究教育拠点の形成を行い、研究水準向上と世界をリードする創造的人材の育成を総合的に推進するものである。

なお、本プロジェクトは平成 18 年度から開始し、平成 22 年度にシステム稼働、最終的に平成 24 年度の完成を目指し進められてきた。

注 1) Linpack : 主に中央処理機構 (CPU) の計算性能を比較する目的で作られたベンチマークテストの一つであり、線形方程式を解く速度を測定するもの。

注 2) FLOPS: Floating-Point Operations Per Second
1 秒間に浮動小数点演算が何回できるかという能力を表した値のこと。コンピュータの性能指標の一つ。

<実施期間> 平成18年度～平成24年度

<予算額> ○国費総額 約1111億円

<総合科学技術会議における評価の経緯>

○事前評価： 平成17年11月28日 (総合科学技術会議決定)

○事前評価のフォローアップ：
平成18年10月5日 (評価専門調査会)

○事前評価の指摘を踏まえた評価：
平成19年9月13日 (総合科学技術会議決定)

<文部科学省における事後評価の経緯>

○事後評価： 平成25年4月17日 (科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会)

3. 事後評価の進め方

事後評価は、「評価に関する本会議決定」及び「総合科学技術会議が事前評価を実施した研究開発に対する事後評価の進め方について」(平成21年1月19日評価専門調査会)に従って、評価専門調査会に評価検討会を設置して調査検討等を行うものとする。

4. 検討会メンバー

評価専門調査会長が座長の指名を含め、専門委員数名及び招聘者数名を選任。

5. 実施スケジュール(予定)

平成25年5月13日

評価専門調査会

○評価検討会設置の確認

○文部科学省から研究開発概要等の聴取及びそれに対する質疑

平成 25 年 5 月～6 月

評価検討会（2～3 回）

- 評価検討会における調査検討の進め方
- 文部科学省から研究開発成果等の聴取及びそれに対する質疑
- 調査検討のとりまとめの検討

平成 25 年 6 月

評価専門調査会

- 評価検討会の調査結果の報告
- 評価結果案のとりまとめ

平成 25 年 7 月

総合科学技術会議

- 評価結果の審議・決定
- 評価結果を総合科学技術会議議長から文部科学大臣宛に通知等